

戦

評

大会名 第64回全日本バレーボール高等学校選手権大会岩手県予選会

男子決勝

会場名： 一関市総合体育館

主審： 紺野美穂

副審： 多田直樹

試合結果

不来方 3 $\left\{ \begin{array}{l} 21 - 25 \\ 23 - 25 \\ 25 - 15 \\ 25 - 23 \\ 15 - 9 \end{array} \right\}$ 2 盛岡南

戦評 試合時間 1 時間 54 分

第1・第2セットともに盛岡南が堅固な守備で不来方の攻撃を防ぎ、両エースの1番太野、4番中野にボールを集め高さのある攻撃で得点を重ね連取する。

第3セット不来方は、セッター花坂の巧みなトスワークによる多彩な攻撃を仕掛け、一気にリードするとその勢いのままこのセットを奪取する。第4セット、両チームとも激しい両エースの打ち合いとなる。盛岡南はサイド攻撃で得点を重ねる。対する不来方は13番石ヶ森、14番小野寺の速攻と10番藤田のスパイクで応戦し一進一退の攻防が終盤まで続き、最後は不来方が昨年覇者の意地を見せ、このセットも取り、勝負は最終セットに。

最終セット前半は1点を取り合う展開。中盤、不来方10番藤田の3連続スパイクポイントで盛岡南を突きはなし、最後は途中出場9番藤原のサービスエースで幕を閉じた。

4年連続春高バレー出場不来方の全国大会での活躍に期待したい。

7～10行にまとめること。

戦評者： 塩井和幸

岩手県バレーボール協会 審判委員会